

「令和5年度 福祉教育実践研修会」レジュメ

福祉教育の基礎と応用 ～福祉教育が今、必要とされる理由とは～

日程:令和5年8月18日(金)

会場:松江テレサ 4F 大会議室

主催:社会福祉法人 島根県社会福祉協議会

対象:市町村社協、地区社協、公民館、コミュニティーセンター、学校、社会福祉施設等で福祉教育に関わる方、関心のある方・実践を考えている方など

講師:田原 秀樹 島根県福祉教育推進協議会、元六日市病院 副院長・理事

キーワード:D&I = Diversity (多様性)・Inclusion (包摂性)

講義Ⅰ:10:10～12:00:福祉教育の基礎知識と応用

1、「福祉教育の基礎知識と応用

- (1) 福祉とウエルビーイング経営の視点

「福祉」とは？

「福祉教育」とは、どんなことだと思いますか？

- (2) 福祉教育と社協の関係

- (3) 福祉教育の展開について・・・福祉教育の学習プログラム例と開発1～4

※ 福祉教育プログラムの「評価」の視点

2、「人口統計」からの気づき:マクロ・メゾ・ミクロの視点

実践事例:人口推計からの気づき、「福祉教育のまち」推進:1991年(H3)

実践事例:高校「福祉科」設置の提案の意義:1998年(H10)～

3、参加者の「事前意識調査」の結果(報告・分析)

事前・事中・事後のプロセスの重要性

講義Ⅱ:13:00～13:45:「しまね流ふくし教育推進指針」の解説

島根県社会福祉協議会の取り組み

福祉教育とボランティアの推進と全体的なイメージ図

演習:13:45～15:30:GW ～地域で「共に生きる力」を育む福祉教育～

福祉と学校・地域との連携

2年後(2025年)・17年後(2040年)の予測と課題の共有化

アクティブラーニング:ワールドカフェ方式・BB法・KJ法

交流と意見発表そして質疑 ～出会い・触れ合い・学び合い～


以上

～福祉教育が今、必要とされる理由とは～

日程：令和年8月18日（金）
講義Ⅰ：10:10～12:00: 福祉教育の基礎と応用
～福祉の学びが今、必要とされる理由とは～
講義Ⅱ：13:00～13:45: 「しまね流ふくし教育推進指針」
演習：13:45～15:30: 地域で共に生きる力を育む福祉教育
～地域と教育の連携～

会場：松江テレサ 4F 大会議室
主催：社会福祉法人 島根県社会福祉協議会
対象：市町村社協、地区社協、公民館、コミュニティーセンター、学校、社会福祉施設等
で福祉教育に関わる方、関心のある方・実践を考えている方など
講師：田原 秀樹 島根県福祉教育推進協議会
元六日市病院 副院長・理事

Logical-Sinking
Critical-Sinking



レジュメ: R5年度 福祉教育実践研修会

オリエンテーション
・キーワード: D&I: Diversity (多様性) Inclusion (包摂性)

講義Ⅰ: 10:10～12:00 福祉教育の基礎知識

1、「福祉教育の基礎知識と応用」
(1) 福祉とウエルビーイング経営の視点
(2) 福祉教育と社協の関係
(3) 福祉教育の展開について・・・福祉教育の学習プログラム例と開発1～4
※ 福祉教育プログラムの「評価」の視点

2、「人口統計」からの気づき: マクロ・メゾ・ミクロの視点
実践事例: 人口推計からの気づき、「福祉教育のまち」推進99年(H3)
高校「福祉科」設置の提案の意義: 1998年(H10)～

3、事前意識調査の結果報告

講義Ⅱ: 13:00～13:45: 「しまね流ふくし教育推進指針」
島根県の取り組み・福祉教育とボランティアの推進・全体的なイメージ図

演習: 13:45～15:30: GW ～地域で「共に生きる力」を育む福祉教育～
福祉と学校・地域との連携-2年後(25年)・17年後(40年)の変化: 課題の共有化

—まとめ—